

# かわとはきもの博物館めぐり⑧

神奈川県企業博物館連絡会顧問 福原 一郎

## 日本はきもの博物館 II

日本で唯一はきもの専門の博物館の3号館は元々下駄工場で、館内には一つの木から同時に1足の下駄を生産する機械設備など製造工程が再現されている。また松永の製塩業のあゆみがわかる歴史資料も見ることが出来る。

また、屋外にある職人長屋は1919年（大正8年）に建てられた職人の住まい兼仕事場で、工場から運ばれてくる半製品の下駄を手作業で仕上げる作業が再現され工具類も展示されている。

日本はきもの博物館と同一敷地内に1994年（平成6年）に開館した日本郷土玩具博物館がある。古来からそれぞれの地域で作られ受け継がれてきた伝統的な玩具、子供の成長や健康を願うもの、歳事にちなんだもの、世界の玩具など50,000点が収蔵

され15,000点が展示されている。

「はきもの」と「郷土玩具」共に伝統と文化がしのばれるもので共通性がある。

両館では企画展や、講習会、体験教室、関連行事などを常に行っている。

博物館正門わきにある2階建の洋館は、1922年（大正11年）に建てられたもので、国の登録有形文化財になっている現在はコーヒーハウス“サボ”として見学のと休憩が出来る。また、入口のミュージアム・ショップでは松永の下駄や郷土玩具、書籍、外国のミュージアム・グッズも買うことが出来る。

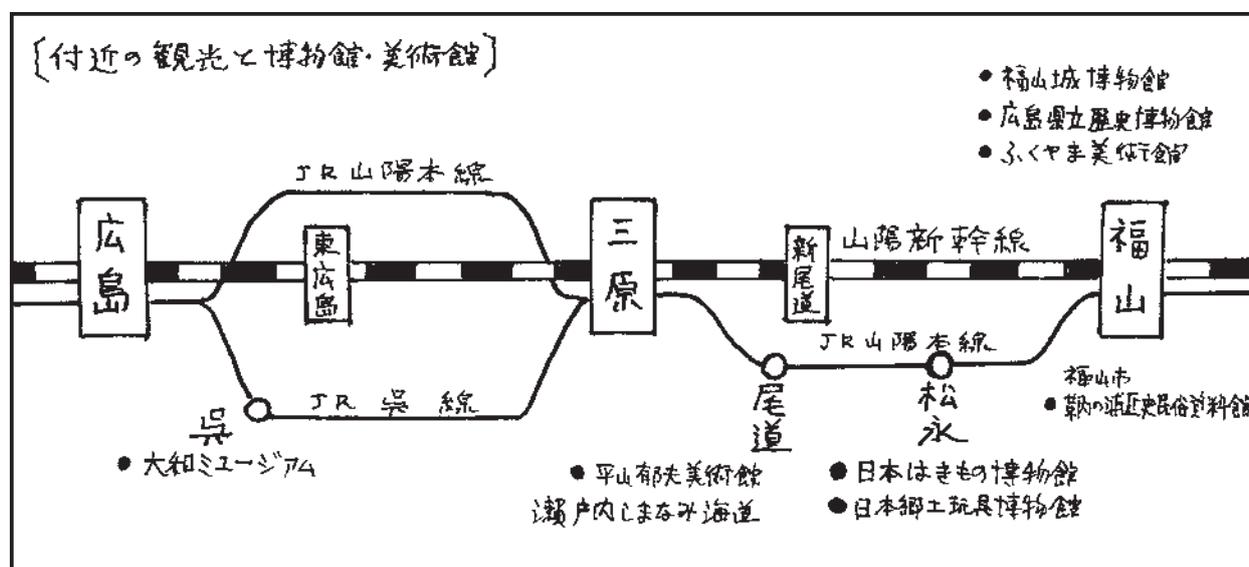
松永で博物館を見学したあと足をのばせば福山や尾道の観光や、他の博物館・美術館の見学も出来る。

所在地 ● 福山市松永町4-16-27 / 電話084-934-6644

開館時間 ● 9:00-17:00 (入館16:30まで) / 年中無休 (12月28日-1月1日休館)

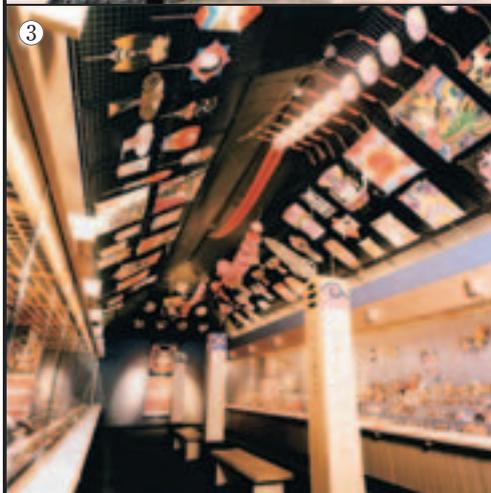
入場料 ● 一般1,000円 大学生800円 中学・高校生600円 幼児・小学生400円  
3才以下無料

交通 ● JR松永駅南口より徒歩5分、山陽自動車道福山西ICより車で約10分、  
国道2号線(案内標識より)南へ300m





遺芳文化財団・博物館正門



- ① 3号館 下駄の製造工程と機械の展示
- ② 日本郷土玩具博物館前のモニュメント  
「遊遊」松岡高則作
- ③ 第4展示室 ふるさとの玩具

写真は日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館 提供